

■誌上発表2

1 研究主題 「夢」ということばからの発想 → マインドマップの作成

2 提案者 墨田区立向島中学校 教諭 奥井 伸

3 テーマと題材の関わり（題材設定の理由）

- ・マインドマップの特性を知った上で自らの発想や構想を「かたち」にする。
- ・テーマとなる「夢」のイメージをふくらませて独自のマインドマップを描く。

4 学習の目標

- (1) 「夢」ということばからイメージをふくらませる。自分の将来などを認識することで最終学年を前にしての自覚を促す。
- (2) 配色を工夫し、伝えたい内容についてわかりやすさや美しさを考えてデザインする。
- (3) できあがった作品のなかで自分の意図する思いや考えを他人に説明することができる。

5 評価の観点

- (1) テーマとなる「夢」からの発想をいかにしてふくらませられたか。
- (2) マインドマップに「かたち」を工夫できたか。
- (3) 配色豊かに仕上げられたか。
- (4) 自分の作品を客観的に見つけ、他人の作品の良さや美しさを感じ取ることができたか。

6 学習計画（全5時間）

(1) 用具・準備

- ① 材料 画用紙
- ② 道具 ポスカ ペン 色鉛筆 マジック など
- ③ その他 プリント ワークシート

(2) 展開

時数	学習内容	学習活動	指導上の留意事項（評価の観点・視点）
1	・マインドマップとは何かを理解する。 ・実際の作例を見て、「自分ならどうするか？」とイメージをふくらませる。	・先生の話をよく聞く。	・マインドマップの表現について意欲をもつことができる。（関心・意欲・態度）
1	・キーワードの決定。 ・下描きを行う。	・大まかなキーワードを幹にし、それに想起される「ことば」やイメージを放射状（かたちは基本的に自由）に描き込んでいく。	・自分のイメージをかたちにするための準備ができる。（発想や構想の能力）
1	・キーワードとなる「ことば」やイラストを消書する。	・下描きの終わった者から消書に入る。	・配色を考えながら、自分のイメージをかたちにできる。（発想や構想の能力）
1	・配色を工夫し「マインドマップ」を完成させる。	・自分なりの「マインドマップ」を完成させる。	・イメージをかたちにしながらマインドマップを完成できる。（発想や構想の能力）
1	・クラスの中で発表者を募り自分の作品について発表させる。	・発表にあたった生徒は発表する。それ以外の生徒は発表者の説明を聞く。 ・他人の発表を見てどう感じたか、また、自分の作品にはどのような工夫があるのかワークシートに記入する。	・友だちの発言を聞いて自他の作品を客観的に評価できる。（鑑賞の能力）

・作例（あくまで例ということで「夢」という題材とは少しニュアンスが違います）

